

地震災害予測研究会（第2回）議事要旨

日 時： 2019年12月17日(火) 15:00～17:00

場 所： 損保料率機構 29階 L1L2 会議室

出席者： ([]は欠席委員 敬称略)

(委員) 林康裕 和泉正哲 北川良和 腰原幹雄 境有紀 山田哲

(機構) 鈴木 山口 (リスク業務部)

(事務局) リスク業務部火災・地震リスクグループ

議 事：

1. 近年の地震の地震保険実績データの分析について、2011年東北地方太平洋沖地震および2016年熊本地震について説明し、議論した。主な意見は次の通り。
 - A. 被害関数には、実績データと整合するように作成するという観点だけではなく、物理学や力学による説明性が重要である。
 - B. 物理学や力学で説明するにあたり、地盤や建物特性等、様々なデータを吟味すべきである。
2. 新たな被害関数構築に参考となる既往研究の調査結果について説明し、議論した。主な意見は次の通り。
 - A. 既往研究から得られる知見を利用する際、論拠について精査するよう注意すること。

以 上